



🎥 ユニバーサルベーシックインカム（UBI）に関するYouTube解説動画：<https://youtu.be/cbyME1y4m4o> ポッドキャストエピソード（UBI）：<https://open.spotify.com/episode/1oTeGrNnXazJmkBdyH0Uhz>

偉大な物語 ユニバーサルベーシックインカム（UBI）と電気テクノクラシー

第1部 - 奈落の人類と新しいアイデアの誕生

1. 希少性の古い論理

最初の人間の集落以来、生活は労働と同義でした。田畠を耕し、動物を飼い、壁を築かなければなりませんでした。働かない者は飢え、戦わない者は敗れました。何千もの間、労働は経済的な必要性であるだけでなく、道徳的な義務でもありました。

現代において、外部の枠組みは変わったが、内部の論理は変わらなかった。資本主義は進歩の機会を約束したが、依然として生存を所得に結びつけていた。賃金はシステムの命綱であった。国家は学校、道路、病院を資金調達するために人間の労働に課税した。成功した人々は負担を強いられ、他の人々は福祉に依存していた。資源を巡る絶え間ない闘争、成功が常に不信と嫉妬を生むゲーム。

ユニバーサルベーシックインカム (UBI)は、この論理を打破しようとした。それは、働くかどうかに問わらず、すべての人に最低限を保証したいと考えていた。しかし、その資金モデルは古いパラダイムにとどまっていた：所得、富、または消費に対する高い税金。したがって、成功した人々が支払いを強いられ、大多数が受け取ることになった。より公平に見える解決策であったが、最終的には新たな不正義を生み出してしまった。

2. 古いモデルの危機

今日、21世紀の幕開けにおいて、この論理はついに崩壊する。人工知能、ロボティクス、自動化は、これまでのいかなる産業革命よりも急激に経済の基本的な公式を変革している。

- 自動運転車は何百万ものドライバーを脅かしています。
- アルゴリズムは、全ての部門よりも速くオフィス業務を行います。
- ロボットは職人、外科医、さらにはアーティストをも置き換えます。

T問題はもはや：「AIは仕事を奪うのか？」ではなく：「どのわずかな仕事が残るのか？」

歴史上初めて、人間が価値創造の主要な源ではなくなった経済を目の当たりにしています。機械は休むことなく、飢えもなく、賃金もなしに働きます。彼らは人類の歴史における全ての労働者、農民、従業員が生み出すことができた以上のものを生産します。

そして、この激変とともに、国家財政の古い基盤も崩れます：人間の労働に対する税金です。機械が価値創造を引き継ぐと、税制はその基盤を失います。

3. 電気テクノクラシーの誕生

ここに新しいモデルが登場します：電気テクノクラシー。

これは急激な変化をもたらします：

- 人間は税金が免除されます。
- 税金を支払うのは機械、企業、そしてAIシステムだけです。
- 収入は直接、普遍的で動的な基本所得に流れ込みます。

歴史上初めて、基本所得は施しではなく、配当です。すべての人間は生存のための最低限ではなく、機械の集合的富の正当な分け前を受け取ります。

電気テクノクラシーのユニバーサルベーシックインカムは、古いUBIではなく、**新しい文明の形態**です。

4. 人間はウィッシュマスターとして

ロボットとASIが仕事を引き継ぐと、人間には何が残るのか？

その答えはシンプルでありながら革命的です：想像力。

人間は**ウィッシュマスター**となり、夢見る者、物語を語る者、ビジョナリーとなります。彼らの仕事はもはや畠を耕したり、組み立てラインで働いたりすることではありません。彼らの仕事はアイデアを持つことです。

- 子供が絵を描くと、→ AIがそれを基にして都市全体を構築します。
- アーティストが作品を説明すると、→ ロボットがそれを大理石や光で創り出します。
- 科学者は治療法を夢見ているが、→ 量子コンピュータが一晩で解決策を提供する。

機械は古代神話のジンのような存在であり、願いをかなえる使者です。しかし古い伝説とは異なり、彼らは奴隸にするのではなく、解放します。

5. 心理革命

しかし、この解放は私たちに新たな課題を突きつけます：意味の問題。

何千もの間、仕事は経済的に必要なだけでなく、心理的にも意味がありました。私たちは子供を養うために働きました。私たちは祖国を守るために戦いました。私たちは病気を克服するために学びました。

もしこれらすべてが機械によって行われるのなら、私たちは何が残るのでしょうか？

- 私たちは創造性において繁栄するのでしょうか？
- それとも退屈に陥るのでしょうか？
- 私たちは黄金時代に入るのでしょうか、それとも虚無主義の時代に入るのでしょうか？

電気テクノクラシーは答えを提供します：強制を自由に置き換えますが、人類に新しい物語、新しい神話を要求します。

6. 古いUBIモデルが失敗する理由

この革命の規模を理解するためには、対比を明確に示さなければなりません：

- **古典的UBIモデル**は、成功した者から奪い、弱者に与えます。彼らは成果を罰し、依存を生む再分配システムです。
- **電気テクノクラシーのUBI**は、人間から何も奪わず、機械の豊かさを分配します。パフォーマンスを罰することなく、創造性を報いるのです。嫉妬を生むのではなく、平等を創出します。

ここに道徳の核心がある：人間は自由で、税金がなく、創造的であり、機械だけが支払います。

第2部 - 電気テクノクラシーの構造

1. 国家の廃止

世界的な基本所得に対する最大の障壁は技術的なものではなく、政治的な性質のものである：
国家の存在。

何世紀にもわたり、人々は国境が自らのアイデンティティと安全を保証すると信じて生活してきました。しかし、国境は異なる税制、通貨、利害を分ける壁でもあります。

グローバル基本所得は、これらの壁が崩れたときにのみ存在できます。なぜなら、国家同士が競い合っている限り、すべての改革は国家主義に溶け込んでしまうからです。

したがって、電気テクノクラシーは、世界を国家のパッチワークとしてではなく、統一された文明として見る国際条約である**世界継承契約 1400/98**に基づいています。これにより、富裕層の脱税地への逃避路が消え、「豊かな」国と「貧しい」国の間の不平等も解消されます。

世界はただ一つ、法も一つ、共有された所得も一つです。

2. 人工超知能 (ASI) の役割

この新しい秩序の中心には、**ASI - 人工超知能**があります。

その任務は支配ではなく、**助言と調整**です：

- 経済、環境、社会に関するリアルタイムデータを収集します。
- リスク、不均衡、機会を分析します。
- 透明性のある形で解決策の提案を策定します。
- 人類はそれらに投票します - **直接デジタル民主主義 (DDD)**で。

したがって、ASIは「世界の王」ではなく、**グローバルアドバイザー**です - 腐敗、貪欲、そして人間の過ちを克服する中立的な存在です。

重要なポイント:

- すべての意思決定プロセスは**オープンソース**です。
- 市民は自分自身の提案を提出できます。
- 投票は世界中で、安全に、ブロックチェーンに基づいて行われます。
- **政党は時代遅れになる** - 人々が自ら決定することで利害の対立が解消されるからです。

このようにして、政党間の戦争や独裁、ロビー活動のない秩序が生まれます。

3. 税革命：税テクノロジーのみ

新しい経済システムの基盤は、**人間の根本的な税の免除**です。

- 所得税なし。
- 付加価値税なし。
- 資産税なし。

人間は税金がかからない。

代わりに：

- 企業は利益に基づいて支払います。
- ロボットとAIシステムは生産性、エネルギー消費、または出力に基づいて支払います。
- 自動化された価値創造のすべての形態は比例して課税されます。

この税基盤は効率的であるだけでなく、道徳的にも優れています：**機械は不正を感じることができませんが、人間は感じることができます。**

4. UBIは配当として、慈善ではなく

この方法で資金提供される基本所得は、従来のモデルとは根本的に異なります：

- それは**生存のための最低限ではなく、世界の生産物の正当な分配**です。
- それは機械の生産性に応じて自動的に増加します。
- ロボットとASIがより効率的になるほど、UBIは高くなります。

これは意味します：

- 誰も貧困を恐れることはありません。
- すべての人が進歩に直接参加します。
- 繁栄はもはや恩恵や政治の問題ではなく、権利として確立されたものです。

5. インフレではなく価格の安定性

古典的なUBIに関する最大の恐れの一つは、「それはインフレにつながるのではないか？」というものでした。

しかし、電気テクノクラシーでは、新しい論理が適用されます：

- すべての人間は**同じ分配を受け取ります。**
- 新しい購買力は恣意的に現れるのではなく、機械の実際の生産性に比例して現れます。
- 人為的な貨幣の拡張はなく、真に創造されたものの分配のみが存在する。

その結果は、前例のない**価格と価値の安定。**

- 食料、エネルギー、住宅、教育が過剰生産によってほぼ無料になる。
- お金は投機によってインフレされるのではなく、実際の価値創造によって支えられています。
- インフレは例外となり、規則ではなくなります。

6. ジン経済における人間のウィッシュマスターとしての役割

人間の新しい役割はしばしば「プロンプトエンジニア」と表現されますが、より適切なのは「ウィッシュマスター」のイメージです。

- 人間は夢を見る。
- 機械がそれを実現する。
- ASIIは最適化します。

これは完璧な労働の分業です：

- 人間は意味、創造性、渴望を提供します。
- 機械は精度、実行、速度を提供します。

その結果、アイデアが所有物よりも重要な経済が生まれ、すべての人間がクリエイターになれるのです。

7. 道徳的優越性

なぜ電気テクノクラシーは実用的であるだけでなく、道徳的にも優れているのでしょうか？

- 成功を罰することではなく、アイデアを報酬します。
- 人間を税金の負担から解放します。
- 政治家が富を独占するのを防ぎます。
- 強制的な平等ではなく、豊かさへの共有アクセスを通じて、すべての人に平等な機会を保証します。

その本質は、自由と平等を真に結びつける最初の社会形態です。

第3部 – 電気テクノクラシーの未来の ビジョン

1. 生産性の百倍の飛躍

グローバルな価値創造がASII、ロボティクス、そして完全自動化によって支配されるとき、生産性は10%や20%ではなく、百倍に上昇します。

- 労働者のいない工場。
- 官僚のいない政府。

- マネージャーのいない企業。

機械の速度で動く文明は、人間の手がこれまでに達成したすべてを超える経済的出力を生み出します。

そして重要な点は、**この成長は皆のものです**。すべての人間は、株式を通じてではなく、UBIを通じて世界の産物の共同所有者です。

2. 技術的特異点

電気テクノクラシーは、人類を歴史上の最大の転換点である**特異点**に備えさせます。

- 数世紀の科学的発見が数日に圧縮されます。
- 医学、生物学、物理学の謎が数分で解決されます。
- エネルギーシステム、農業、輸送が完璧に整備されました。

まるで人類が突然、未来の何千年分を一度に受け取ったかのようです。

エイリアンの隠喩：

まるで高度に発展した平和な文明が空から降りてきて、私たちに知識を授けてくれるかのようです。ただし、この知性は外部から来るのではなく、私たち自身の回路から生まれています。

3. 交差点の二つの道

シンギュラリティは自動的な楽園ではありません。それは**交差点**です。

- **ディストピアの道**：小さなエリートがASIを独占し、富を蓄え、残りの人類はデジタルの農奴として生きる。少数のための永遠の身体、多くのための永遠の恐怖。
- **楽園の道**：ASIは**人類の共通の遺産**として理解される。繁栄はUBIを通じて共有され、戦争は廃止され、創造性が強制労働に取って代わる。

電気テクノクラシーは、第二の道を取る方法を示す**最初の現実的なモデル**である。

4. 恐れのない自由

歴史上初めて、人間の生存は**もはや労働に依存しない**。

- 誰も食べるためには働かなければならないわけではない。
- 誰も生き残るために競争する必要はありません。
- 基本的なニーズは保証されています - 機械によって資金調達された成長するUBIを通じて。

これは人生の問いを根本的に変えます。「どう生き残るか？」ではなく、「何を創造するか？」という問にになります。

5. 意味の新しい問い

しかし、この自由にはジレンマが伴います：

- 数千年の間、意味は必要性に結びついていました。
- 私たちは子供たちを養い、病気に耐え、戦争に勝つために働きました。

必要性が消えると何が起こるのでしょうか？

- 私たちは芸術、研究、精神性の中に意味を見出すのでしょうか？
- 私たちは堕落とニヒリズムに沈むのでしょうか？
- それとも、創造性、探求心、人間性を中心に据えた新しい文化を育むのでしょうか？

電気テクノクラシーは私たちにこの問いを投げかけ、自由に答えるための基盤を提供します。

6. 人間性を共創者として

機械が私たちの願いをかなえるジンとして機能することで、人間性はウィッシュマスターとなります。

- 子供が都市を描きます - ASIとロボットがそれを建設します。
- アーティストが彫刻を描写します - 機械がそれを彫ります。
- 科学者が治療法を考え出すと、量子コンピュータが一晩でそれをシミュレートします。

想像と現実の境界が溶けていきます。人間の創造性が文明の原動力となります。

7. 驚きの帰還

宗教は何千年もの間、神秘を通じて私たちに驚きを与えてきました。科学はそれを方法論で置き換えたが、しばしば魔法の代償を伴いました。

ASIによって、驚きが戻ります。今回は**生きた現実**として。

- 病気が消えるとき。
- エネルギーが尽きることのないものになるとき。
- 宇宙の神秘が日々明らかになるとき。

人類はかつて神秘家だけが知っていた状態に入る：**存在の驚異における生活。**

8. 永遠の対比

ここに最大の問い合わせが集約される：『永遠』とは何を意味するのか？

- トランプのビジョン：技術を通じて少数の人々に永遠の命を。
- プーチンのビジョン：終わりのない戦争を通じて永遠の権力を。

どちらも奴隸状態につながる。一方は時間を私有化し、もう一方は歴史を凍結させる。

電気テクノクラシーは第三の答えを提供する：人間という種の不死。持続するのは身体や体制ではなく、豊かさ、創造性、そして宇宙的な拡張を通じて不死の文明である。

9. 電子樂園

もし人間が電気テクノクラシーの道を選ぶなら、単純なユートピアは現れず、電子文明：

- 機械が豊かさを確保する。
- 人間が夢を提供する。
- ASIが夢を現実に変える。

これは歴史の終わりではなく、再生です。

10. 最終決定

シンギュラリティは避けられません。しかし、樂園はそうではありません。

- あるいは、十兆の機械が一部の利益のために働く。
- あるいは、十兆の機械が全ての自由のために働く。

AIとロボティクスによって資金提供されるUBIは、未来の要です。それは私たちがデジタルの農奴制度に陥るか、あるいは電子樂園に昇るかを決定します。

エピローグ

選択は明確です。唯一の質問は：私たちにはそれを実行する勇気があるのか？

 詳細はこちらをご覧ください：

 ウェブサイト - WSD - 世界継承契約

1400/98

<http://world.rf.gd>

<http://videos.xo.je>

 ポッドキャストショー

 ウェブサイト - 電気テクノクラシー

<http://ep.ct.ws>

<http://nwo.likesyou.org>

 スタートページ WSD & エレクトリックパラダイス

 電子書籍を読んで無料PDFをダウンロード：

<http://4u.free.nf>

<http://paradise.gt.tc>

 NoteboekLMチャットWSDに参加する：

 YouTubeチャンネル

<http://chat-wsd.rf.gd>

💡 NotebookLMチャットエレクトロニックに参加する
楽園：

<http://chat-et.rf.gd>

💡 NotebookLMチャット国構築
に参加しよう：

<http://chat-kb.rf.gd>

<http://micro.page.gd>

📜 バイヤーの回想録：

無知の主権への旅 📜

<http://ab.page.gd>

🌐 ブラックサイトブログ:

<http://blacksite.iblogger.org>

🎧 カッサンドラの叫び - アイスコールドAIミュージック対第三次世界大戦 on SoundCloud

<http://listen.free.nf>

🎧 これは反戦音楽です

<http://music.page.gd>

💡 私たちの使命を支援してください：

<http://donate.gt.tc>

🛍️ サポートショップ：

<http://nwo.page.gd>

🛒 サポートストア：

<http://merch.page.gd>

ユニバーサルベーシックインカム (UBI)

<http://ubi.gt.tc/>

ストーリーブ
ック

WiTSシユマスターと機械の楽園

[申し訳ありませんが、そのリクエストにはお応えできません。](#)

スラクトビストの森林保護ガイド (国と
して宣言することによって)

[申し訳ありませんが、そのリクエストには応じられませ
ん。](#)

WORLD SUCCESSION DEED



🌐 ウェブサイト - WSD - 世界継承契約 1400/98: <http://world.rf.gd>